



2 2025
Vol.138



奥能登へ届けられたみかんと応援メッセージ

特集

2 頁

社協職員現地報告

奥能登へみかんと贈ろうプロジェクト



長期にわたって支援を続けている現地社協やNPO・NGO団体の皆さんにもみかんをお届けしました。



現地での支援活動の様子。バラバラになったコミュニティをつなぎ直し、能登で暮らし続けたいを応援。

特集

社協職員現地報告

奥能登へみかんを贈ろうプロジェクト

令和6年元日に発生した最大震度7の能登半島地震。更に同年9月の奥能登豪雨災害により、特に奥能登の皆さんは、長く苦しい生活を強いられています。

そのような中で「被災者された方々に、年末年始を少しでも明るく前向きに過ごしてほしい」との思いから、宇和島市特産のみかんと応援メッセージカードを届ける「奥能登へみかんを贈ろうプロジェクト」を企画しました。

まずはみかん集めから。企画に共感してくれたJAえひめ南やみかん農家の方々から「平成30年豪雨でたくさんの方に助けてもらった分、自分たちも災害で困っている人のお役に立ちたい」と思いのこもったみかんがなんと100箱も集まりました。

次にメッセージを募集。12月に開催した福祉祭にて、来場者からいただいたものをはじめ、みかん農家の方や市内関係各所から、能登半島の方々への応援メッセージがたくさん集まりました。

そして、12月17日に、宇和島市社協・宇和島NPOセンターの車両にみかとメッセージ等を積み込んで出発。奥能登の4市町（珠洲市、輪島市、穴水町、能登町）を巡りました。

現地では公民館や集会所、仮設住宅を訪ね、近隣の方々が集まるサロン活動に参加しました。みかとメッセージをお渡しすると「とても美味しい！わざわざ宇和島から能登まで来てくれてありがとう」ととても喜んでいただきました。「家にいると嫌になるがサロンに来ると気がまぎれる。顔見知りのご近所さんと会うと安心する」とお話しされたことが印象に残っています。

今回、奥能登へみかんを届けて改めて気づいたことは、「普段のつながりが、災害時はさらに大切になる」ということです。宇和島市社協では、平時からのつながりづくりを、より一層大切にできるよう取り組んでいきます。また、能登半島をはじめ被災地への支援を行うことで、被災された皆さんに、宇和島から温かい思いをつないでいきたいと思っています。



福祉祭にて集まった応援メッセージでみかんの木を作成。現地の皆さんにお渡ししました。



JAや有志のみかん農家の方からたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。

訓練報告

災害ボランティアセンターを知ろう

11月22日に、宇和島市総合福祉センターにて「災害ボランティアセンター立上シミュレーション訓練」を開催しました。当日は災害支援に関わる団体やボランティアの方々など、総勢42名に参加いただきました。

講師は、にいがた災害ボランティアネットワークの李仁鉄氏。前半には、災害ボランティアセンター（以下、災害VC）の仕組みや役割などを説明。それを基に後半は災害VCの設営及び運営訓練を行いました。

設営訓練では、受付班やマッチング班などに分かれた参加者が、災害VC立ち上げを体験。実際に机や椅子などを運び出し、ボランティアがスムーズに活動できるよう設営しました。

その後は運営訓練として、参加者がスタッフ役とボランティア役に分かれ、道具を用意して出発するまでの流れを体験。困っている被災者に対して、ボランティアの力をいかにスムーズに届けるか。スタッフ側、ボランティア側両方の視点から学びを深めました。

今後本会では、訓練や養成講座などを通じて効果的な災害支援が行えるよう備えてまいりますので、関心のある方は是非ボランティア登録をお願いします。



スタッフ役とボランティア役に分かれ、災害VCを体験している様子。



講師の李仁鉄氏より、動線を考慮した配置のアドバイスをいただきました。

活動レポート

新たな年を安心とともに

歳末たすけあい募金配分事業



歳末たすけあい募金が活かされています。

誰もが新たな年を安心して迎えることができるように、市内それぞれの地区で年末から年始にかけて行う歳末たすけあい事業。民生委員児童委員の皆さまのご協力を得て、一人暮らしの高齢者のお宅に一軒ずつ見守り訪問をするなどし「たすけあいの想い」を届けました。

立間地区や鶴島地区では、日用品などを携えて高齢者の方を訪問。

「いつも来てくれて嬉しい」と微笑まれた姿から、普段の温かなつながりが伝わります。年末年始の寒さを忘れるような、心温まる機会となりました。





共同募金運動へのご協力 ありがとうございました

10月から3か月間実施しました共同募金運動に、宇和島市の皆さまから心温まる多くの募金をお寄せいただき、心からお礼申し上げます。また、共同募金運動にあたりご協力をいただきました自治会長さま、民生委員児童委員さまをはじめ関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

今後とも、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

報告

赤い羽根共同募金

(10/1~10/31)

総 額	8,094,693円	使いみち
戸別募金	4,362,416円	●宇和島市の地域福祉活動 - 地域で仲間づくり『いきいきサロン』 (詳しくはP.7をご覧ください。) - 親子でつながろう『親子のひろば』 - 学校へ出向き福祉を学ぶ『福祉学習』
大口募金	2,341,750円	
職域募金	783,600円	
学校募金	185,355円	●県下の福祉施設整備やボランティア活動 ●災害時等準備金
街頭募金	309,652円	
そ の 他	111,920円	



報告

歳末たすけあい募金

(12/1~12/31)

総 額	2,641,218円	使いみち
戸別募金	2,220,282円	●民生委員児童委員さまを通じての高齢者の見守り活動や地域交流活動 (詳しくはP.3をご覧ください。) ●施設入所児見舞金及び進学・就職者支度金 ●障がい者施設への助成金
街頭募金	385,936円	
そ の 他	35,000円	

令和7年1月6日現在の実績額

3万円以上の募金にご協力いただいた企業のご紹介

(50音順・敬称略)



株式会社浅田組	一若建設株式会社	宇和島自動車株式会社
宇和島信用金庫	宇和島道路舗装株式会社	えひめ南農業協同組合
株式会社カネコ	株式会社 富士建設コンサルタント	株式会社宮田建設
株式会社ヨンキュウ		

中央共同募金会 <http://www.akaihane.or.jp>

愛媛県共同募金会 <http://www.akaihane-ehime.or.jp>

報告 令和6年度 介護職員初任者研修 開催しました！

佐々木福祉振興基金活用事業

社会福祉協議会では、福祉・介護に携わる人材を育成するために、7月から12月にかけて、研修を開催してまいりました。講義・演習の回数は計26回（130時間）に上ります。これら、すべてのカリキュラムを12名の方が修了されました。

介護職員初任者研修は、介護職の基本となる資格です。研修を終えた受講生からは、『学んだことを理解し、実践し、楽しい介護を目標としていきたい』『相手の気持ちに配慮し、その人らしい生活ができるように援助したい』『自分に合った介護を選べるのが分かり、目標も持てることを知った』など、感想が寄せられました。

受講生の皆さまのご活躍を期待しています。

また、今回の研修に限らず、これから“介護の仕事に就きたい”“福祉の資格を取得したい”とお考えの方がおられましたら、社会福祉協議会までお気軽にご相談ください。



介助について、ご利用者にも介助者にも負担が少なく安全におこなう方法を学びました。



この日の講師は「愛ほっと」の久徳壮一郎 先生です。



修了証交付式の様子。

子どもの応急手当講座

子どもの見守りや読み聞かせなどのボランティア活動をする際の“もしも”に備え、乳児や幼児への心肺蘇生法や応急手当を学びます。

日 時 令和7年2月14日(金)
13:30～15:30

場 所 宇和島市総合福祉センター
4階ホール

定 員 30名

講 師 宇和島消防署職員



障がいについて知ろう ～聴覚障がい編～

聴覚障がいのある方と交流しながら、生活における工夫やコミュニケーション方法などを学びます。

日 時 令和7年3月8日(土)
13:30～15:30

場 所 宇和島市総合福祉センター
3階 多目的室

定 員 30名程度



問い合わせ・申込先

宇和島市社会福祉協議会
(ボランティア・市民活動センター)

TEL 23-3711 / FAX 24-7889

二次元コードからも
申し込みできます



ボランティア養成講座には赤い羽根共同募金が活かされています



地域 みんながホッとできる居場所づくり ふれあい・いきいきサロンを始めよう

サロンって？

身近なところを拠点とした
地域の方の自主的な**集いの場**
子供から大人まで参加可能



何をするの？

茶話会や体操など自由
みんなで協力して企画・運営

支援メニュー紹介

●出前講座

体操、絵手紙、歌など
年間2回まで、無料で開催可能

●道具貸出

レクリエーション道具や
プロジェクター・DVDなど

助成金制度

開催回数：月に1回程度（年8回以上）

助 成 額：5名～10名未満 10,000円
10名以上 20,000円

※（初年度）10,000円加算

レクリエーション
で楽しく交流会！



お気軽に
ご相談ください！



みんなで押し花づくり！

問い合わせ

宇和島市社会福祉協議会
地域福祉課（TEL：23-3711）

ご存知ですか？「福祉サービス利用援助事業」

地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理をお手伝いする事業を実施しています。

判断能力が低下して、次のような不安を感じることはありませんか？

困りごと

福祉サービスを利用したいけど、どうすれば良いかわからない。



必要なお金の出し入れや支払いに自信がない。



通帳や印鑑をどこに置いたかわからなくなってしまう。



支援内容

1. 福祉サービスの利用援助
情報提供や福祉サービスが円滑に利用できるようにお手伝いします。

2. 日常的な金銭管理サービス
日常生活に使う預貯金の出し入れや公共料金などの支払いをお手伝いします。

3. 書類等の預かりサービス
印鑑や預金通帳、書類などをお預かりします。



- 利用できる方
- 利 用 料

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など
1時間までは1,000円（新年度より変更の可能性あり）
・1時間を超える場合は30分ごとに500円加算。
・生活保護を受けている方は無料。



※この事業は県社協からの受託事業として実施しています。

【問い合わせ】 宇和島市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎(0895) 23-3711



司法書士等による専門相談所〈無料〉

～遺言・相続・成年後見制度など～

日時 2月5日(水) 9:00～12:00

場所 三間保健福祉センター

※相談受付は、予約の方を優先
させていただきます。

☎0895-28-6033
(権利擁護センター ピット)



新型コロナウイルス感染症の 特例貸付償還における相談窓口

令和5年1月より特例貸付の償還が始まりました。計画通りの返済が難しい場合は相談をお受けしています。

状況に応じて、償還猶予や償還月額変更など
のご案内ができることがあります。お気軽にご相談ください。

**相談
受付** 平日 9:00～17:00

窓口 宇和島市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎23-3711



職 員 募 集

準 職 員

【勤務地】 本所、三間・津島支所
【職 種】 介護支援専門員
【賃 金】 201,200円
【賞 与】 503,000円 (年2.5か月分)

訪問介護員・調理員なども募集しています。
詳しくは、ホームページをご確認いただくか、
本所総務課までお問い合わせください。

総務課 ☎23-3711



まごころ銀行



宇和島市社会福祉協議会 まごころ銀行へ寄付を
いただきました。心より御礼申し上げます。

一 般

喫茶フレール 様 [宇和島市新町]

香典返し

藤田 芳守 様 [宇和島市三間町]

白岩 将一 様 [宇和島市三間町]

若林 久美 様 [宇和島市三間町]



『まごころ銀行』とは？

冠婚葬祭のお祝いやお悔みに対する「おかえし」の感謝の気
持ちをご寄付いただくことで、地域の福祉活動に活かされます。

なお、本会への寄付金は『税額控除制度』の適用を受けること
ができますので確定申告の際に所轄の税務署へご確認ください。

【令和6年11・12月受付】希望者のみ掲載

親子のひろば〈無料〉

～大きくなあれ！子どもたち～



未就学児と、その家族が気楽に集まれる場所です。
お気軽にご参加ください。

時間 10:00～11:30



場所 宇和島市総合福祉センター 2階

2 月 3日(月)・5日(水)・13日(木)
19日(水)・27日(木)

3 月 3日(月)・5日(水)・13日(木)
19日(水)・27日(木)

**相談
・
測定** 保健師による育児相談・体重身長測定
2月5日(水) 10:30～
※体重身長測定を希望される方は、感染対策の
ため、各自タオルをご用意ください。

※詳細につきましては、随時ホームページを
ご確認ください。

※大雨暴風などの警報発令時は、中止とします。

広告募集！

有料広告を募集しています。
詳しくは、本所総務課広報担当
までお問い合わせください。

総務課 ☎23-3711

